

巻頭言

「世界初・業界初へのチャレンジ」

谷口 昌伸

東熱技報100号発刊にあたり、創業以来『技術の東熱』を築き上げて来られた諸先輩方に改めて敬意を表しますと共に、今後益々の社業発展を祈念し、その歴史を振り返りたいと思います。

当社は、昭和12年（1937年）8月25日に創立された「國光映画株式会社」が前身であります。その後、14年（1939年）に「日本耐熱金属工業株式会社」、21年（1946年）に「國光産業株式会社」、22年（1947年）に「東洋冷機工業株式会社」、そして28年（1953年）に現在の「東洋熱工業株式会社」として商号を変更致しました。創業は昭和12年8月25日ですが、8月は盛夏のため諸行事には向かないことと、昭和23年（1948年）5月1日に役員・株主・本社・企業力について大改革を行ったことから、この日を創立記念日と決めました。

技術の歴史へ目を向けますと、昭和26年（1951年）に日本最初の民放ラジオ放送が、昭和28年（1953年）には民放テレビ放送も開始され、当社がスタジオの空調設備工事を施工し世界初のエルボ型消音器を開発し、その後すべての空調設備の消音装置として採用される事となります。昭和38年（1963年）には、TBSスタジオの消音設計技術が高く評価され、『第1回空気調和衛生工学会賞』を受賞しました。

昭和39年（1964年）には、他社に先駆けてクリーンルーム技術を研究開発し、ソニー大崎工場にて施工し、61年（1986年）には、光通信用デバイスを生産する工場として当時世界最大級（約2万m²）であったNEC大月工場の空調設備を施工致しました。また、当時国際化の進展の中で、海外事業を継続していくにはISOの認証が必要であり、平成8年（1996年）、日本の空調業界（原子力分野）で初めて、品質保証の国際規格『ISO9001認証』を取得しました。平成11年（1999年）には、空調衛生設備業界で初めて、環境マネジメントシステムに関する国際規格『ISO14001認証』も取得し、常に業界の先陣を切ったチャレンジを続けてきました。

一方で業容の拡大に伴い社員数も増加し、昭和30年（1955年）に現在本社のある東京都中央区京橋二丁目の既設建物（3階）を取得して移転を行いました。その後10年を経て昭和41年（1966年）に旧東熱ビルが完成し、更に年月を経て平成25年（2013年）に現在の新社屋完成に至りました。大阪支店は支店の中で最も古く、昭和30年（1955年）に出張所より支店に昇格しました。昭和41年（1966年）には名古屋に新社屋が完成し、名古屋支店が開設されました。同年、九州出張所も九州支店に昇格し、昭和62年（1987年）に九州支店ビルを新築し移転しました。その後、昭和45年（1970年）に横浜支店、49年（1974年）に広島支店（平成2年に中国支店へ改称）、51年（1976年）に仙台支店（平成2年に東北支店に改称）、53年（1978年）に関東支店、54年（1979年）に札幌支店がそれぞれ開設され、東京工場（現エアトロニック事業部）、Bi-C事業部、更には海外事業を含めた現在の組織体制が構築されました。

今般、熱源最適制御コントローラ「E-SCATシリーズ」が『2022年度（令和4年度）省エネ大賞』に於いて、「製品・ビジネスモデル部門」の“資源エネルギー庁長官賞（業務分野）”を受賞致しました。E-SCAT®は多種多様な熱源システムについて、最大負荷から部分負荷時までの最適制御を行える汎用性に富むコントローラであり、平成21年（2009年）ソニー熊本工場にて世界最高効率（COP8.0）を達成致しました。事務所ビル・商業施設・病院・データセンターなど様々な分野に導入され、平均30%の消費電力を削減した実績が、省エネに資する優れた製品として評価されました。

我々には、カーボンニュートラル達成に向け、今まで以上に省エネルギー・脱炭素へ向けた新技術の開発が求められています。これまでに無い新たな視点、新たな発想、そして諸先輩方から受け継がれた「世界初・業界初へのチャレンジ精神」を持ち続け、次世代のために低炭素社会を実現しましょう。